

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く  
**都道府県別訪日外客数と訪問率**  
月次指標の早期推計：2月レポート

野村亮輔（副主任研究員）  
福田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）  
松林洋一（APIR 上席研究員）  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: contact@apir.or.jp

**ポイント**

●3月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、2月の訪日外客総数(推計値)は**346万6,700人**であった。前年同月比+6.4%、2カ月ぶりのプラス。日中関係悪化の影響で中国人客は大幅減少したが、旧正月休暇の影響もあり、韓国人客や台湾人客が全体を押し上げた。一方、同月の出国日本人数は**109万3,300人**。同-7.4%と2021年3月(同-89.4%)以来のマイナスに転じた。なお、19年同月比では-28.8%となり、アウトバウンド需要は低迷している。

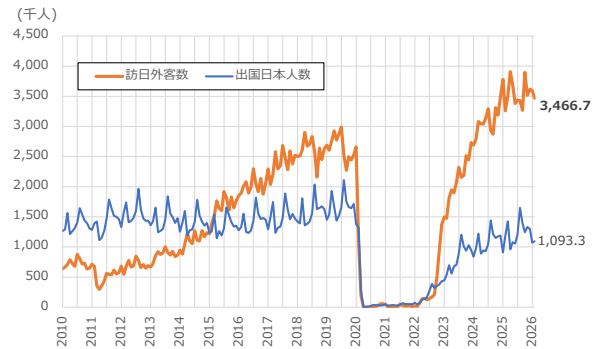
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、2月は**韓国が108万6,400人**(前年同月比+28.2%)と最多であった。次いで台湾が69万3,600人(同+36.7%)、**中国が39万6,400人(同-45.2%)**、香港が23万3,900人(同+19.6%)、**米国が21万9,700人(同+14.7%)**と続く。**日中関係悪化の影響もあり中国人客は3カ月連続で大幅減少した。**

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(表5)、12月は**361万7,791人**(前年同月比+3.7%)。うち、**観光客は339万5,228人**で12月として過去最高値を更新。ただし、伸びは同+3.5%と前月(同+10.3%)から縮小し、1桁の伸びにとどまった。また、**その他客は13万7,221人(同+13.1%)**、**商用客は8万5,342人(同-3.7%)**であった。

▶2025年通年の目的別訪日外客総数(暫定値)は、**4,268万3,837人**、前年比+15.8%となった。うち、**観光客は3,896万2,902人(同+15.9%)**、**その他客は246万4,755人(同+19.6%)**と、**いずれも過去最高値を更新**。一方、商用客は125万6,180人(同+4.8%)となった。なお、**2019年比でみると、観光客(同+37.9%)**や**その他客(同+32.0%)**などはコロナ禍前を回復しているが、**商用客(同-28.5%)は依然遅れている**。

▶先行きインバウンドにとって、**1) 日中関係悪化の長期化と2) 中東情勢の悪化**が引き続きリスク要因となる。2)については、前月レポートで指摘したように中東地域の主要ハブ空港の機能が大幅低下(供給側)しており、回復の見通しは依然立っていない。今月レポートでは旅行需要に影響を与える航空燃料価格に注目した(図3)。航空燃料の代表的な指標であるシンガポール・ケロシン価格(ドル/バレル)をみれば、**イラン攻撃前である2月27日の93.45ドルから3月30日には242.06ドルへ急上昇した**。足下4月9日は216.28ドルと幾分低下したが、依然として高水準で推移している。中東情勢の不確実性は依然として高く、訪日外客に対する影響には引き続き注視が必要である。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移

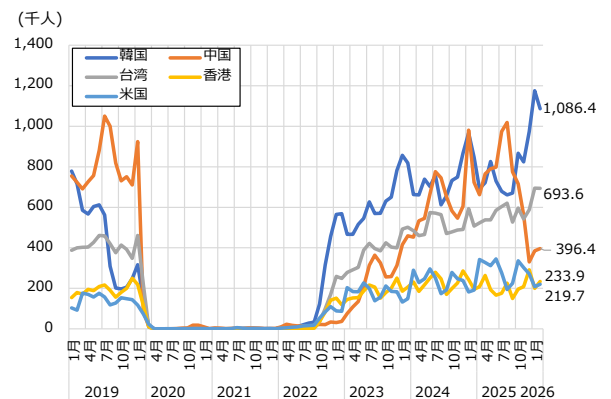


注：2023年まで確定値、24年、25年12月は暫定値。

2026年1月、2月は推計値

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図3 航空燃料(シンガポール・ケロシン)価格の推移：

2019~26年



注：現物、FOB 価格

出所：各所報道資料より筆者作成

\*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待つて今後再開する予定である。

## トピックス 1

### ● 2月関西の財貨・サービス貿易の動向

▶**関西 2月の輸出額**は前年同月比+4.0%と**17カ月連続の増加**だが、春節時期(25年1月下旬、26年2月中旬)のずれの影響で、増加幅は前月の同+17.7%から大幅縮小した。一方、**輸入額は同+14.0%**と2カ月ぶりの増加。結果、**関西の貿易収支は+3,089億円**と**13カ月連続の黒字**(図4)。輸出、輸入ともに増加したが、後者の伸びが前者の伸びを上回ったため、**黒字幅は前年同月比-28.3%縮小**した。

▶対中国貿易動向をみると(図5)、**関西2月の対中国輸出**は前年同月比-5.8%(前月：同+46.6%)と**6カ月ぶりに減少**した。輸出減に寄与したのは、原動機や半導体等製造装置などであった。一方、**対中国輸入**は同+51.1%(前月：同+2.5%)と**4カ月連続の増加**。輸入増に寄与したのは衣類及び同附属品やがん具及び遊戯用具等である。

▶**2月の関西国際空港**(以下、関空)への**訪日外客数は75万9,975人**であった(図6)。前年同月比-5.0%と3カ月連続の減少だが、減少幅は前月の同-17.2%から縮小した。旧正月休暇(2月15~23日)でアジアを中心に旅行者数が増加する時期であったが、全国に比して中国シェアの高い関空では日中関係悪化で中国人客が減少した影響が表れた。日本人出国者数は20万8,936人であった。前年同月比-9.4%とコロナ禍中であった2021年3月(同-95.3%)以来の減少に転じた。なお、2019年同月比でも-31.7%となっており、全国と同様に関空におけるアウトバウンド需要は低迷している。

▶関空が公表した**2026年夏季国際定期便のスケジュール**(26年3月29日~10月24日)によれば、国際旅客定期便は週平均1,202.8便と前年同期(1,449.0便)から-17.0%減少が見込まれている(図7)。路線別にみれば、訪日旅行需要の高まりもあり、**韓国路線が468.6便(同+25.8%)と最も多く**、次いで東南アジアが207.1便(同+14.4%)となっている。一方、日中関係悪化の影響もあり、**中国路線は162.9便で同-69.6%と大幅減少が見込まれている**。なお、中東を含むその他地域については、18.6便で同-1.6%と小幅減少が見込まれている。2025年における関空への訪日外客全体に占める中国人客のシェアは32.1%と全国の21.3%に比して10.8%ポイント高い。このため、長引く日中関係の悪化による訪日中国人客減少の影響は全国に比して関西の方に強く表れよう。

\*今月号ではレポートの公表日の都合により、2月の「第3次産業活動指数」を取り扱わなかったことにご留意いただきたい。

図4 関西 対世界貿易の推移

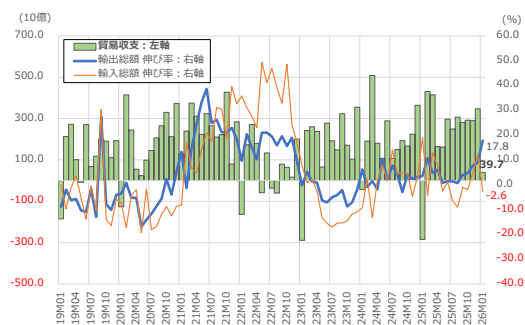
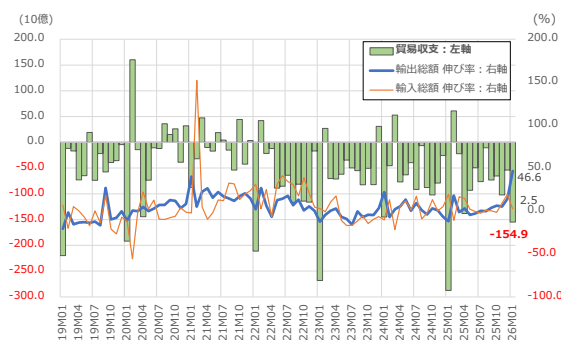
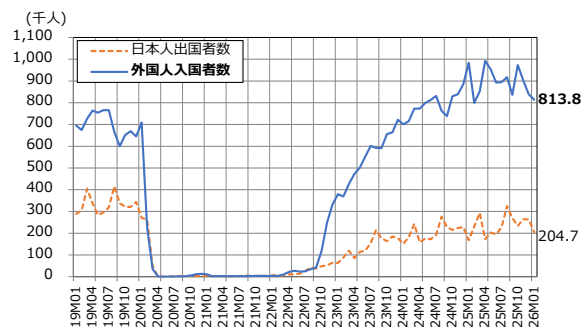


図5 関西 対中貿易の推移



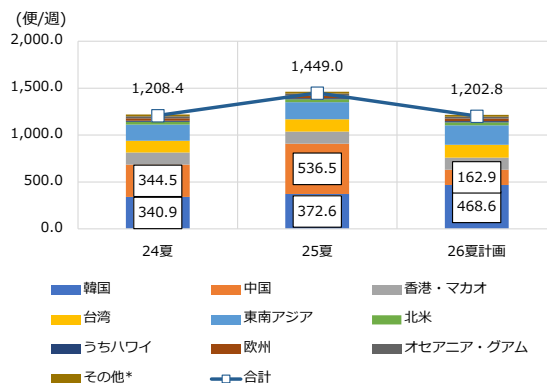
出所：『大阪税関貿易速報資料：近畿圏』より筆者作成(図4~5)

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2026年2月値は速報値

図7 夏期スケジュールにおける国際定期旅客便の推移：関空：2024-26年



出所：関西エアポートプレスリリース資料より筆者作成

## トピックス 2

### ●12月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、12月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は**1,1063.3千人泊**(表1)。前年同月比**-8.6%**と**3カ月連続の減少**となった(前月：同-6.1%)。日本人宿泊者、外国人宿泊者いずれも減少が続いており、宿泊需要は停滞している。

▶日本人延べ宿泊者数は**7,420.9千人泊**となった。前年同月比**-7.8%**と**3カ月連続で減少**し、減少幅は前月(同-5.5%)から**拡大**した(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,528.4千人泊と最も多い。次いで、京都府1,418.1千人泊、兵庫県1,220.1千人泊、三重県738.9千人泊、滋賀県342.8千人泊、和歌山県315.4千人泊、福井県278.3千人泊、奈良県206.1千人泊、鳥取県188.1千人泊、徳島県184.7千人泊であった。関西12月の前年同月比(-7.8%)に対する寄与度をみれば、減少に寄与したのは、**大阪府**(同-4.0%ポイント)、**京都府**(同-1.8%ポイント)、**兵庫県**(同-1.5%ポイント)等の8府県であった。

▶外国人延べ宿泊者数は**3,642.4千人泊**であった(表1及び図9)。前年同月比**-10.1%**と**6カ月連続で減少**し、減少幅は前月の同-7.2%から**拡大**した。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府1,889.8千人泊、京都府1,396.9千人泊と2府への集中が続いている。次いで、兵庫県167.4千人泊、和歌山県44.9千人泊、三重県34.0千人泊、奈良県33.7千人泊、滋賀県27.9千人泊、徳島県20.5千人泊、鳥取県16.9千人泊、福井県10.4千人泊であった。前年同月比(-10.1%)への寄与度をみれば、**大阪府**(同-10.0%ポイント)、**京都府**(同-1.4%ポイント)と**和歌山県**(同-0.3%ポイント)の**3府県が外国人延べ宿泊者の減少に寄与**した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019年=100)をみれば、2026年2月は**79.9**となった。前年同月比-2.6%と35カ月連続の悪化だが、前月の同-3.4%から悪化幅は縮小した(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

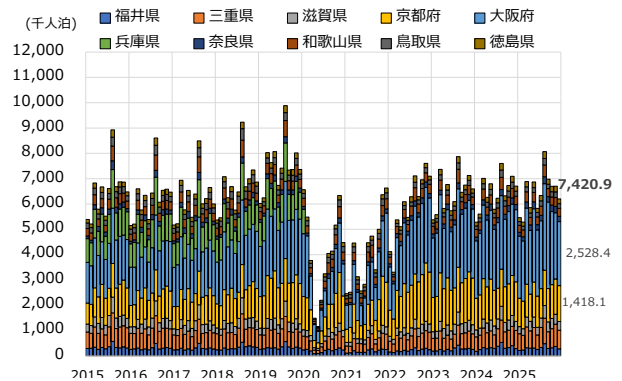


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

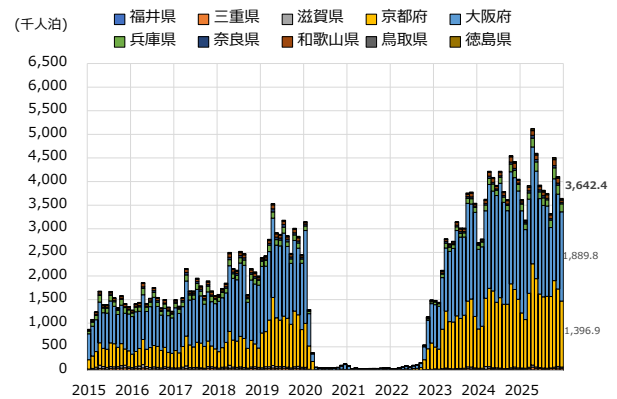


図10 宿泊料金と賃金の交易条件



注：交易条件は賃金(現金給与総額)を宿泊料金(消費者物価)で除した指数。2019年平均を100

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』より筆者作成

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：12月

	総数				日本人				外国人			
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	当月寄与度 (%ポイント)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	当月寄与度 (%ポイント)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	当月寄与度 (%ポイント)	前年比伸び率： 前月(%)
福井県	288.7	-3.4	-0.1	-7.9	278.3	-4.7	-0.2	-8.4	10.4	52.7	0.1	8.9
三重県	772.8	4.7	0.3	16.7	738.9	3.0	0.3	15.7	34.0	66.7	0.3	45.2
滋賀県	370.6	-3.2	-0.1	-8.0	342.8	-3.9	-0.2	-8.7	27.9	5.5	0.0	-0.2
京都府	2,815.1	-6.6	-1.6	-5.9	1,418.1	-9.2	-1.8	-11.9	1,396.9	-3.9	-1.4	-0.1
大阪府	4,418.3	-14.1	-6.0	-10.8	2,528.4	-11.3	-4.0	-7.1	1,889.8	-17.6	-10.0	-15.2
兵庫県	1,387.5	-6.2	-0.8	-2.4	1,220.1	-9.1	-1.5	-5.2	167.4	21.1	0.7	23.0
奈良県	239.8	3.7	0.1	-0.2	206.1	2.3	0.1	-0.6	33.7	13.0	0.1	2.3
和歌山県	360.4	-6.0	-0.2	-4.6	315.4	-3.9	-0.2	-4.7	44.9	-18.5	-0.3	-4.2
鳥取県	205.0	-2.4	0.0	-9.6	188.1	-4.9	-0.1	-9.6	16.9	38.0	0.1	-8.8
徳島県	205.2	-5.3	-0.1	-4.0	184.7	-8.2	-0.2	-4.9	20.5	32.5	0.1	6.0
関西2府4県	9,591.6	-9.8	-	-7.6	6,030.9	-9.2	-	-7.6	3,560.7	-10.9	-	-7.6
関西2府8県	<b>11,063.3</b>	<b>-8.6</b>	<b>-8.6</b>	<b>-6.1</b>	<b>7,420.9</b>	<b>-7.8</b>	<b>-7.8</b>	<b>-5.5</b>	<b>3,642.4</b>	<b>-10.1</b>	<b>-10.1</b>	<b>-7.2</b>
全国	53,593.6	-4.2	-	-3.7	38,122.6	-4.9	-	-3.6	15,471.0	-2.3	-	-3.7

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~9及び表1)

トピックス 3

● 2025年10-12月期訪日外国人訪問率と消費単価：関西

▶ 2025年10-12月期における関西各府県の訪問率をみると(図11)、大阪府40.4%が最も高く、次いで京都府29.4%、奈良県8.3%、兵庫県5.3%、和歌山県1.5%、三重県0.7%、滋賀県0.6%、鳥取県0.4%、徳島県0.3%、福井県0.2%と続く。前年同期と比較すると(表2)、大阪府は+0.3%ポイント、和歌山県は+0.1%ポイント、いずれも小幅上昇にとどまった。一方、奈良県は-0.7%ポイント、京都府は-0.6%ポイント、兵庫県は-0.3%ポイント、滋賀県は-0.0%ポイントそれぞれ低下した。なお、福井県、三重県、鳥取県、徳島県はいずれも横ばいとなった。

▶ 当該期間の各府県の訪問率に訪日外客数を乗じて推計した関西における訪日外客数をみよう。2025年10-12月期の訪問者数を降順にみれば(表2)、大阪府が446万720人(前年同期比+11.3%)と最も多く、次いで京都府が324万3,955人(同+8.1%)、奈良県が91万9,174人(同+1.8%)、兵庫県が58万4,381人(同+3.9%)、和歌山県が16万5,113人(同+21.1%)、三重県が7万9,037人(同+15.4%)、滋賀県が6万6,692人(同+7.9%)、鳥取県が4万1,913人(同+25.7%)、徳島県が3万4,510人(同+31.4%)、福井県が2万3,290人(同+15.9%)と続く。

▶ 2025年10-12月期の関西における訪日外国人消費単価(旅行者1人1回当たりの旅行消費金額)をみると(表3)、関西2府4県では前年同期比+8.4%増加した。費目別にみれば、宿泊費(同+14.0%)、飲食費(同+6.6%)や娯楽等サービス費(同+23.4%)は増加した一方、交通費(同-12.5%)や買物代(同-1.0%)は減少した。

▶ 観光庁によれば、2025年10-12月期の関西における訪日外客消費額は6,815億円となり(表3)、前年同期比+18.5%増加した(7-9月期：同+16.1%)。なお、同期の全国の消費額\*は2兆5,319億円、同+10.2%となり(7-9月期：同+15.0%)、関西は全国の伸びを上回った。

\*全国の消費額については本レポート No.67 を参照。

図11 訪日外国人訪問率の推移：関西2府8県

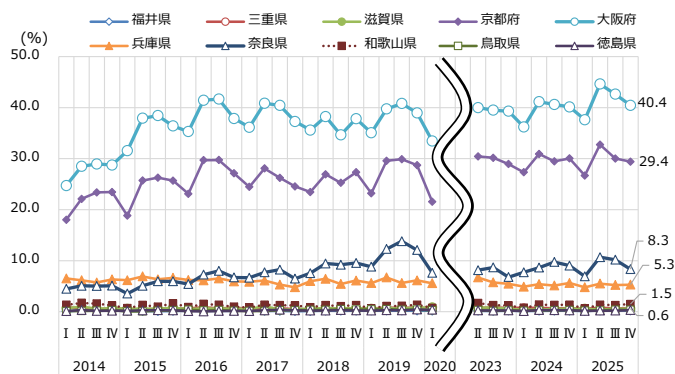


表2 訪日外客の訪問率と人数：関西2府8県

府県ベース	24Q4	25Q4	前年差	府県ベース	24Q4	25Q4	前年比伸び率
福井県	0.2	0.2	0.0	福井県	20,088	23,290	15.9
三重県	0.7	0.7	0.0	三重県	68,486	79,037	15.4
滋賀県	0.6	0.6	-0.0	滋賀県	61,833	66,692	7.9
京都府	30.0	29.4	-0.6	京都府	3,000,573	3,243,955	8.1
大阪府	40.1	40.4	0.3	大阪府	4,007,929	4,460,720	11.3
兵庫県	5.6	5.3	-0.3	兵庫県	562,195	584,381	3.9
奈良県	9.0	8.3	-0.7	奈良県	902,499	919,174	1.8
和歌山県	1.4	1.5	0.1	和歌山県	136,373	165,113	21.1
鳥取県	0.3	0.4	0.0	鳥取県	33,334	41,913	25.7
徳島県	0.3	0.3	0.0	徳島県	26,272	34,510	31.4

運輸局ベース	24Q4	25Q4	前年比伸び率	運輸局ベース	24Q4	25Q4	前年比伸び率
北海道	6.2	7.1	0.9	北海道	619,254	783,860	26.6
関東	53.4	52.1	-1.2	関東	5,332,435	5,753,344	7.9
中部	11.4	10.7	-0.7	中部	1,135,838	1,176,110	3.5
近畿	43.3	43.5	0.2	近畿	4,322,881	4,799,473	11.0
九州	12.1	12.4	0.3	九州	1,207,621	1,368,550	13.3

出所：JNTO『訪日外客統計』及び観光庁『インバウンド消費動向調査』より推計。

表3 費目別訪日外国人消費単価の比較：関西2府4県

	消費単価	費目別(7区分)						
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2024年10-12月期 (万円/人)	福井県	3.9	1.3	1.0	0.1	0.8	0.4	0.0
	三重県	5.0	1.3	0.8	0.1	0.1	2.0	0.0
	滋賀県	4.0	1.8	1.4	0.1	0.1	0.5	0.0
	京都府	5.7	2.5	1.3	0.2	0.3	1.0	0.0
	大阪府	9.5	2.8	1.9	0.3	0.4	3.5	0.0
	兵庫県	3.6	1.3	1.0	0.1	0.1	0.8	0.0
	奈良県	1.1	0.3	0.3	0.0	0.1	0.3	0.0
	和歌山県	4.4	2.0	1.3	0.1	0.1	0.6	0.0
	鳥取県	3.7	1.5	1.0	0.1	0.1	0.5	0.0
徳島県	4.6	2.2	0.7	0.0	0.2	0.8	0.0	
<b>2府4県</b>	<b>6.8</b>	<b>2.3</b>	<b>1.5</b>	<b>0.2</b>	<b>0.3</b>	<b>2.1</b>	<b>0.0</b>	
2025年10-12月期 (万円/人)	福井県	4.0	1.8	1.0	0.0	0.1	0.5	0.0
	三重県	5.5	1.8	1.0	0.0	0.2	2.0	0.0
	滋賀県	4.3	1.6	1.0	0.1	0.1	1.2	0.0
	京都府	6.0	2.7	1.3	0.2	0.3	1.1	0.0
	大阪府	10.3	3.3	2.1	0.2	0.5	3.4	0.0
	兵庫県	3.5	1.1	1.0	0.1	0.1	1.0	0.0
	奈良県	1.0	0.3	0.4	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	6.8	4.3	1.0	0.2	0.4	0.8	0.0
	<b>2府4県</b>	<b>7.4</b>	<b>2.7</b>	<b>1.6</b>	<b>0.2</b>	<b>0.4</b>	<b>2.1</b>	<b>0.0</b>
前年比(%)	滋賀県	7.0	-10.6	-24.4	44.2	-34.4	137.4	-
	京都府	5.8	7.1	1.7	7.9	4.0	6.2	-
	大阪府	7.7	16.6	9.0	-25.2	26.3	-5.0	-
	兵庫県	-0.6	-14.8	-3.8	-2.6	60.8	18.2	-
	奈良県	-4.8	-0.8	11.4	-6.2	34.0	-32.5	-
	和歌山県	55.5	109.6	-19.9	62.3	467.2	41.4	-
<b>2府4県</b>	<b>8.4</b>	<b>14.0</b>	<b>6.6</b>	<b>-12.5</b>	<b>23.4</b>	<b>-1.0</b>	-	

訪日外客消費額	24年10-12月期(万円)	25年10-12月期(万円)	前年同期比(%)
関西2府4県	57,526,856	68,154,410	18.5
全国	229,690,000	253,190,000	10.2

注：全目的ベース。2024-25年は確報(上図も同様)。消費単価にはパッケージ参加費が含まれる。

出所：観光庁『インバウンド消費動向調査 参考表都道府県別集計』より筆者作成。

表4 2026年2月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2025年	2026年	伸率 (%)	2025年	2026年	伸率 (%)
	2月	2月		1~2月	1~2月	
総数	3,258,491	3,466,700	6.4	7,040,120	7,064,200	0.3
総数(中国除く)	2,535,567	3,070,300	21.1	5,336,676	6,282,500	17.7
韓国	847,358	1,086,400	28.2	1,814,458	2,262,400	24.7
中国	722,924	396,400	-45.2	1,703,444	781,700	-54.1
台湾	507,346	693,600	36.7	1,100,777	1,388,100	26.1
香港	195,543	233,900	19.6	439,230	433,900	-1.2
タイ	116,797	117,000	0.2	213,608	232,100	8.7
シンガポール	42,270	51,300	21.4	87,977	99,800	13.4
マレーシア	64,859	59,700	-8.0	139,862	132,200	-5.5
インドネシア	47,026	51,200	8.9	110,256	125,200	13.6
フィリピン	66,698	71,700	7.5	138,883	150,900	8.7
ベトナム	73,813	61,000	-17.4	124,228	113,800	-8.4
インド	12,955	15,900	22.7	29,144	34,400	18.0
豪州	88,767	87,000	-2.0	228,952	247,700	8.2
米国	191,494	219,700	14.7	374,050	427,500	14.3
カナダ	44,497	51,300	15.3	86,798	99,300	14.4
メキシコ	10,784	15,400	42.8	20,116	30,700	52.6
英国	31,408	35,600	13.3	57,786	65,100	12.7
フランス	26,518	30,600	15.4	43,033	51,200	19.0
ドイツ	18,643	21,900	17.5	31,380	40,200	28.1
イタリア	11,057	12,200	10.3	19,849	24,200	21.9
スペイン	9,827	10,200	3.8	17,228	20,300	17.8
ロシア	5,668	7,700	35.9	10,599	17,500	65.1
北欧地域	12,013	13,600	13.2	21,197	25,400	19.8
中東地域	10,809	10,000	-7.5	22,682	27,500	21.2
その他	99,417	113,400	14.1	204,583	233,100	13.9

表5 2025年12月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	12月	12月		12月	12月		12月	12月		12月		
総数	3,489,888	3,617,791	3.7	3,280,013	3,395,228	3.5	88,582	85,342	-3.7	121,293	137,221	13.1
韓国	867,377	974,239	12.3	840,235	945,813	12.6	14,537	14,874	2.3	12,605	13,552	7.5
中国	604,293	330,435	-45.3	550,001	278,463	-49.4	22,467	15,754	-29.9	31,825	36,218	13.8
台湾	491,162	588,409	19.8	477,888	573,736	20.1	7,509	8,146	8.5	5,765	6,527	13.2
香港	285,553	291,133	2.0	281,845	287,171	1.9	2,000	1,963	-1.8	1,708	1,999	17.0
タイ	146,666	174,009	18.6	143,343	170,574	19.0	1,585	1,625	2.5	1,738	1,810	4.1
シンガポール	136,250	140,646	3.2	134,471	138,780	3.2	1,451	1,481	2.1	328	385	17.4
マレーシア	71,629	100,582	40.4	69,847	98,662	41.3	1,138	1,185	4.1	644	735	14.1
インドネシア	74,994	81,678	8.9	67,327	70,778	5.1	1,054	1,047	-0.7	6,613	9,853	49.0
フィリピン	108,515	115,557	6.5	96,826	100,777	4.1	7,685	10,337	34.5	4,004	4,443	11.0
ベトナム	40,060	43,696	9.1	15,666	17,467	11.5	2,818	2,507	-11.0	21,576	23,722	9.9
インド	17,001	23,254	36.8	11,134	16,622	49.3	3,141	3,432	9.3	2,726	3,200	17.4
豪州	112,500	121,329	7.8	109,659	118,312	7.9	1,191	1,226	2.9	1,650	1,791	8.5
米国	238,523	270,704	13.5	225,869	258,347	14.4	8,133	7,832	-3.7	4,521	4,525	0.1
カナダ	48,259	57,203	18.5	46,810	55,638	18.9	670	622	-7.2	779	943	21.1
メキシコ	12,021	16,972	41.2	11,724	16,707	42.5	143	124	-13.3	154	141	-8.4
英国	30,319	34,594	14.1	27,187	31,396	15.5	1,577	1,427	-9.5	1,555	1,771	13.9
フランス	20,712	25,995	25.5	18,364	23,538	28.2	1,238	1,253	1.2	1,110	1,204	8.5
ドイツ	15,781	20,377	29.1	13,513	18,014	33.3	1,528	1,523	-0.3	740	840	13.5
イタリア	15,141	21,713	43.4	14,101	20,664	46.5	675	655	-3.0	365	394	7.9
ロシア	5,879	8,283	40.9	5,150	7,559	46.8	379	367	-3.2	350	357	2.0
スペイン	10,503	13,607	29.6	9,840	12,950	31.6	312	342	9.6	351	315	-10.3
中東地域	12,569	17,411	38.5	11,685	16,462	40.9	566	621	9.7	318	328	3.1
その他	124,181	145,965	17.5	97,528	116,798	19.8	6,785	6,999	3.2	19,868	22,168	11.6

注：目的別訪日外客数の定義については、レポート No.79 図3 の注参照。表中の赤枠は過去最高を更新した国及び地域  
出所：日本政府観光局(JNTO)、2026年2月18日付より筆者作成(表4~5)